



# 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 林兼産業株式会社

コード番号 2286 URL <http://www.hayashikane.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 熊山 忠和

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 総務部長

(氏名) 小野 康之

TEL 083-266-0210

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	36,010	△5.7	1,352	13.3	1,342	17.9	1,010	26.6
28年3月期第3四半期	38,167	1.9	1,193	175.7	1,138	206.2	798	146.6

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 1,758百万円 (59.5%) 28年3月期第3四半期 1,102百万円 (42.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	113.48	—
28年3月期第3四半期	89.63	—

※当社は、平成28年10月1日付で株式併合(普通株式10株を1株に併合)を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	31,784	7,185	20.3
28年3月期	26,906	5,414	17.7

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 6,452百万円 28年3月期 4,769百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,500	0.5	830	1.3	740	4.7	600	56.2	67.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成28年10月1日付で株式併合(普通株式10株を1株に併合)を実施したため、平成29年3月期(通期)の1株当たり当期純利益については当連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	8,910,000 株	28年3月期	8,910,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	6,913 株	28年3月期	6,607 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	8,903,244 株	28年3月期3Q	8,903,512 株

※当社は、平成28年10月1日付で株式併合(普通株式10株を1株に併合)を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の通期連結業績予想について)

当社は、平成28年6月27日開催の第77期定時株主総会決議に基づき、平成28年10月1日付で当社普通株式10株を1株にする株式併合を実施しております。これに伴い、当連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
(4) 追加情報	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が続く緩やかな回復基調にありましたが、中国経済の減速を背景に輸出が伸び悩むなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。食品業界におきましては、景気の先行き不透明感から個人消費が低調に推移するなど、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか、当社グループは今年度からの2ヵ年を「強化」の期間とし、「人財育成」および「基盤整備」を基本方針とする「第三次中期経営計画」（平成29年3月期～平成30年3月期）をスタートさせました。この経営計画のもと、これまでに取り組んできた経営資源の選択と集中、売上拡大戦略をベースに、安定的な利益確保に向けて構造強化を図り、持続的な事業発展を目指しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、養魚用飼料や肉類の売上減少などにより360億10百万円（前年同期比5.7%減少）となりました。損益面におきましては、主原料価格の安定的推移により営業利益13億52百万円（前年同期比13.3%増加）、経常利益13億42百万円（前年同期比17.9%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益10億10百万円（前年同期比26.6%増加）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメントの業績は、次のとおりです。

#### ①水産食品事業

水産食品事業におきましては、魚肉ねり製品の売上は前年並みで推移したものの、機能性食品素材カツオエラスチンや高齢者向けソフト食「ソフミート」の拡販により新規取引が増加したこと、増収となりました。

これらにより、売上高は31億19百万円（前年同期比5.0%増加）、セグメント利益（営業利益）は23百万円（前年同期は50百万円の損失）となりました。

#### ②畜産食品事業

畜産食品事業におきましては、鶏肉の販売数量減少や豚肉の販売単価下落、ロースハムやベーコンなどのOEM（相手先ブランド供給）製品の販売数量減少により、減収となりました。

これらにより、売上高は155億3百万円（前年同期比5.7%減少）、セグメント利益（営業利益）は5億19百万円（前年同期比23.9%減少）となりました。

#### ③飼料事業

飼料事業におきましては、養魚用飼料の値下げや為替の影響による輸出量減少などにより、減収となりました。

これらにより、売上高は155億73百万円（前年同期比9.2%減少）となりました。損益面においては、生産性向上やコスト削減に努めたことなどによりセグメント利益（営業利益）は14億49百万円（前年同期比30.5%増加）となりました。

**(2) 財政状態に関する説明****①資産、負債、純資産の状況****(資産)**

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は317億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ48億78百万円の増加となりました。

流動資産の増加(前連結会計年度末比31億38百万円増加)は、主に受取手形及び売掛金が34億31百万円増加したことなどによるものです。

固定資産の増加(前連結会計年度末比17億39百万円増加)は、主に投資有価証券が10億58百万円、破産更生債権等が7億82百万円増加したことなどによるものです。

**(負債および純資産)**

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は245億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億7百万円の増加となりました。

流動負債の増加(前連結会計年度末比27億1百万円増加)は、主に買掛金が21億3百万円増加したことなどによるものです。

固定負債の増加(前連結会計年度末比4億6百万円増加)は、主にその他(繰延税金負債)が2億84百万円、長期借入金が1億56百万円増加したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は71億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億70百万円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益10億10百万円を計上したことや、その他有価証券評価差額金が6億47百万円増加したことなどによるものです。この結果、自己資本比率は20.3%となりました。

**(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

今後の見通しにつきましては、国内景気の緩やかな回復が期待されるものの、食品業界においては消費者の節約志向が根強く、依然として厳しい経営環境が続くと予想されます。

しかしながら、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は概ね予想どおり推移しており、平成28年5月13日に発表の通期の業績予想に修正はありません。

なお、今後経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

**2. サマリー情報(注記事項)に関する事項****(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動**

該当事項はありません。

**(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用**

該当事項はありません。

**(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示**

該当事項はありません。

**(4) 追加情報**

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,795,490	2,467,164
受取手形及び売掛金	4,245,481	7,676,610
商品及び製品	1,837,751	1,631,498
仕掛品	2,194,745	1,807,264
原材料及び貯蔵品	1,893,174	1,434,441
その他	190,545	308,413
貸倒引当金	△48,132	△77,783
流動資産合計	12,109,057	15,247,611
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,583,627	3,513,023
土地	4,198,093	4,198,093
その他(純額)	1,993,429	1,988,223
有形固定資産合計	9,775,150	9,699,341
無形固定資産	36,046	37,320
投資その他の資産		
投資有価証券	3,235,743	4,293,884
破産更生債権等	2,898,643	3,681,447
その他	311,922	289,195
貸倒引当金	△1,460,187	△1,464,161
投資その他の資産合計	4,986,121	6,800,365
固定資産合計	14,797,318	16,537,027
資産合計	26,906,375	31,784,638
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,432,764	4,536,508
短期借入金	10,086,484	9,673,206
未払法人税等	102,603	242,066
賞与引当金	223,350	120,134
その他	1,658,938	2,633,654
流動負債合計	14,504,141	17,205,570
固定負債		
長期借入金	3,666,905	3,823,081
退職給付に係る負債	2,028,145	1,956,570
資産除去債務	55,930	50,000
その他	1,236,702	1,564,407
固定負債合計	6,987,684	7,394,058
負債合計	21,491,826	24,599,629

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,415,020	3,415,020
資本剰余金	5,989	8,971
利益剰余金	868,749	1,879,131
自己株式	△6,823	△7,105
株主資本合計	4,282,935	5,296,017
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	574,527	1,222,070
繰延ヘッジ損益	—	4,279
為替換算調整勘定	6,675	10,430
退職給付に係る調整累計額	△94,640	△80,552
その他の包括利益累計額合計	486,562	1,156,228
非支配株主持分	645,051	732,763
純資産合計	5,414,549	7,185,009
負債純資産合計	26,906,375	31,784,638

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	38,167,871	36,010,803
売上原価	32,260,234	29,901,683
売上総利益	5,907,636	6,109,119
販売費及び一般管理費	4,713,684	4,756,354
営業利益	1,193,951	1,352,765
営業外収益		
受取配当金	55,986	60,968
その他	132,981	130,409
営業外収益合計	188,968	191,377
営業外費用		
支払利息	211,086	181,695
その他	33,210	20,368
営業外費用合計	244,297	202,064
経常利益	1,138,622	1,342,078
特別利益		
固定資産売却益	114	83
投資有価証券売却益	22,707	—
特別利益合計	22,821	83
特別損失		
固定資産売却損	3,194	14,102
固定資産廃棄損	38,808	5,522
貸倒引当金繰入額	110,036	—
特別損失合計	152,038	19,625
税金等調整前四半期純利益	1,009,406	1,322,536
法人税、住民税及び事業税	186,646	275,800
法人税等調整額	△22,401	3,955
法人税等合計	164,245	279,756
四半期純利益	845,160	1,042,779
非支配株主に帰属する四半期純利益	47,098	32,397
親会社株主に帰属する四半期純利益	798,062	1,010,382



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	845,160	1,042,779
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	235,438	693,491
繰延ヘッジ損益	—	4,279
退職給付に係る調整額	16,905	14,088
持分法適用会社に対する持分相当額	4,865	3,732
その他の包括利益合計	257,209	715,591
四半期包括利益	1,102,370	1,758,371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,039,445	1,680,047
非支配株主に係る四半期包括利益	62,924	78,323

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産食品事業	畜産食品事業	飼料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,970,753	16,447,122	17,154,431	36,572,307	1,595,564	38,167,871
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20,665	121,517	1,256,348	1,398,531	369,108	1,767,640
計	2,991,419	16,568,639	18,410,780	37,970,839	1,964,673	39,935,512
セグメント利益又は損失 (△)	△50,626	682,627	1,110,694	1,742,696	211,149	1,953,845

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,742,696
「その他」の区分の利益	211,149
セグメント間取引消去	12,659
全社費用(注)	△772,552
四半期連結損益計算書の営業利益	1,193,951

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産食品事業	畜産食品事業	飼料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,119,737	15,503,680	15,573,506	34,196,924	1,813,878	36,010,803
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,563	145,782	1,208,321	1,358,667	363,598	1,722,265
計	3,124,300	15,649,463	16,781,827	35,555,591	2,177,477	37,733,068
セグメント利益	23,487	519,277	1,449,610	1,992,374	161,117	2,153,491

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,992,374
「その他」の区分の利益	161,117
セグメント間取引消去	△1,149
全社費用(注)	△799,576
四半期連結損益計算書の営業利益	1,352,765

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。